

「こまきプレミアム商品券」市民アンケートの結果について

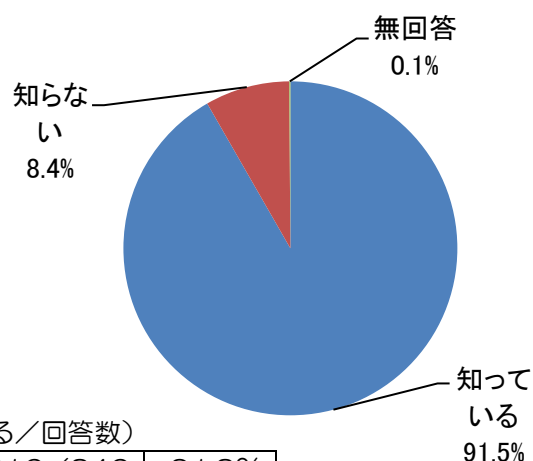
1. 実施概要

- (1) 実施目的 : 今後の商品券事業の参考にするため
- (2) 対象者 : 平成30年1月1日現在、小牧市内に1年以上居住する16歳以上3,000人(無作為抽出)
- (3) 実施期間 : 平成30年3月1日～平成30年3月15日
(3月26日到着分まで反映)
- (4) 回答数 : 回収数916 有効回答数916 有効回答率30.5%

2. 実施結果

問1 あなたは、こまきプレミアム商品券事業をご存知ですか？

知っている	838	91.5%
知らない	77	8.4%
無回答	1	0.1%
合計	916	100%



年代別(知っている/回答数)

20歳代以下	41/61	67.2%
30歳代	77/88	87.5%
40歳代	130/138	94.2%
50歳代	151/161	93.8%
60歳代	193/201	96.0%
70歳代	182/192	94.8%
80歳以上	58/68	85.3%
無回答	6/7	85.7%
全体	838/916	91.5%

地区別(知っている/回答数)

小牧	316/346	91.3%
味岡	195/213	91.5%
篠岡	225/247	91.1%
北里	98/104	94.2%
無回答	4/6	66.7%
全体	838/916	91.5%

地区分け(小学校区)

小牧地区	小牧、村中、三ツ渚、小牧南、米野、小牧原
味岡地区	味岡、一色、本庄
篠岡地区	篠岡、桃ヶ丘、陶、光ヶ丘、大城
北里地区	北里、小木

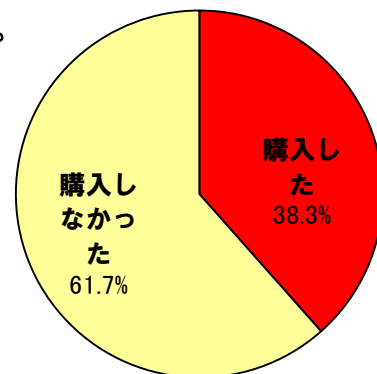
■91.5%(H24:79.0%、H25:80.9%、H26:88.4%、H27:91.5%、H28:90.1%)の方が「知っている」と回答。平成28年度の90.1%から1.4%上昇し、事業の継続とともに認知度も上昇しております。

■年齢別では、特に20歳代以下の方の認知度が、他の世代と比較して67.2%(H24:55.2%、H25:55.8%、H26:70.4%、H27:69.0%、H28:70.7%)と低い傾向が続いています。地区別では、4地区とも認知度が9割を超えておりますが、引き続き、年代、地域などの特性にあったPR方法を行っていく必要があります。

問2 問1で「1 知っている」と回答した方にお聞きします。

あなたは、平成29年7月に販売した、プレミアム商品券を購入されましたか？

購入した	321	38.3%
購入しなかった	517	61.7%
合計	838	100%



年代別（購入した／知っている）

29歳以下	8/41	19.5%
30歳代	19/77	24.7%
40歳代	49/130	37.7%
50歳代	62/151	41.1%
60歳代	81/193	42.0%
70歳代	76/182	41.8%
80歳以上	26/58	44.8%
回答なし	0/6	0.0%
全体	321/838	38.3%

地区別（購入した／知っている）

小牧	131/316	41.5%
味岡	71/195	36.4%
篠岡	78/225	34.7%
北里	41/98	41.8%
回答なし	0/4	0.0%
全体	321/838	38.3%

地区分け（小学校区）

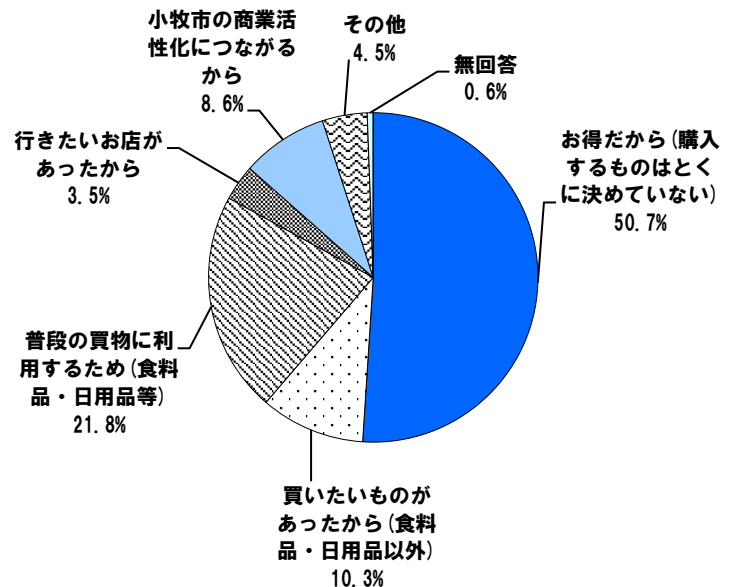
小牧地区	小牧、村中、三ツ渚、小牧南、米野、小牧原
味岡地区	味岡、一色、本庄
篠岡地区	篠岡、桃ヶ丘、陶、光ヶ丘、大城
北里地区	北里、小木

■商品券の購入状況について、「購入した」が38.3%（H24：21.6%、H25：19.8%、H26：21.1%、H27：29.1%（特別予約枠申込中7.8%分が別にあり）、H28：27.7%）となっており、年1回の販売で完売したこともあり、前年と比較して10.6ポイント改善しております。（注：各年度においてアンケートの対象者数は同じですが、商品券の発行額や流通額は、各年度により差異があります）

■商品券事業を知っているが購入に繋がっていない年代については、29歳以下の年代で19.5%、30歳代で24.7%、40歳代で37.7%と、若い世代で低くなっています。その反面、50歳代以上の世代では4割を超える方が商品券を購入しており、世代間の差が明確になっています。地区別では篠岡地区、味岡地区が他の地域に比べ商品券購入者割合が低くなっており、購入者の年齢層や地区に偏りがないようPR方法、販売方法の改善・強化に努める必要があります。

問3 問2で「1 購入した」と回答した方にお聞きします。
あなたが、プレミアム商品券を購入した動機は何ですか？

お得だから（購入するものはとくに決めていない）	172	50.7%
買いたいものがあったから（食料品・日用品以外）	35	10.3%
普段の買物に利用するため（食料品・日用品等）	74	21.8%
行きたいお店があったから	12	3.5%
小牧市の商業活性化につながるから	29	8.6%
その他	15	4.5%
無回答	2	0.6%
合計	339	100%



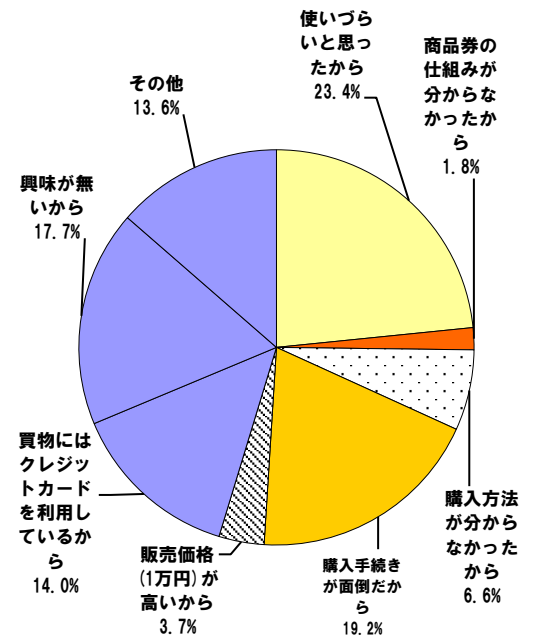
その他の意見（抜粋）

- ・自宅近くの加盟店さんのすすめのため。
- ・買いたい物がある場合、プレミアム券が利用できればそのほうが得策だから。
- ・小牧の広報を見て購入した。
- ・高額商品を購入する予定があったから。
- ・友達はいつも買っていることから一度購入して一度ためてみようかなと思ったから。

■本年新たに追加した設問である「商品券を購入した動機」については、「お得だから（購入するものはとくに決めていない）」が50.7%、「普段の買物に利用するため（食料品・日用品等）」が21.8%で、この2つの項目で7割を超えていますが、「買いたいものがあったから（食料品・日用品以外）」が10.3%、「小牧市の商業活性化につながるから」が8.6%あり、普段の買物以外の消費喚起と市民の市内商業活性化への意識昂揚に一定程度繋がっていると考えます。新たな消費と商業活性化に向けて、商品券の使用手法の提案や加盟店の拡大に向けた取り組みを継続的に実施する必要があります。

問4 問2で「2 購入しなかった」と回答した方にお聞きします。
あなたが、プレミアム商品券を購入しなかった理由は何ですか。

使いづらいと思ったから	127	23.4%
商品券の仕組みが分からなかったから	10	1.8%
購入方法が分からなかったから	36	6.6%
購入手続きが面倒だから	104	19.2%
販売価格（1万円）が高いから	20	3.7%
買物にはクレジットカードを利用しているから	76	14.0%
興味が無いから	96	17.7%
その他	74	13.6%
合計	543	100%



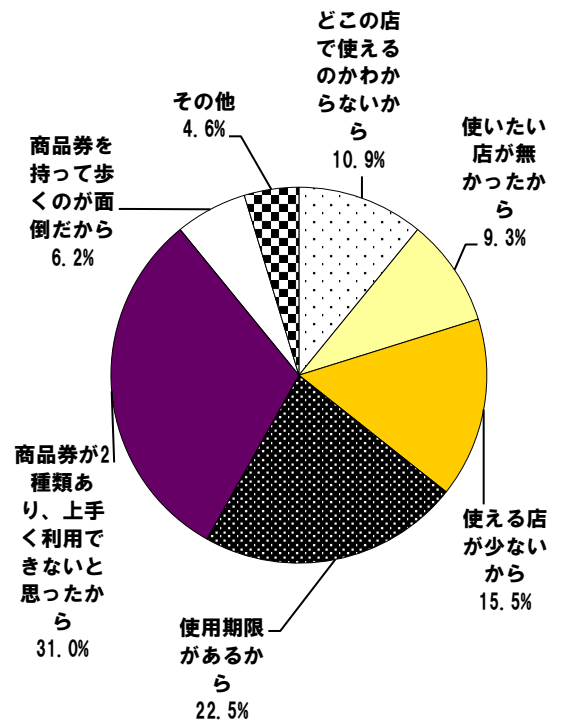
その他の意見（抜粋）

- ・気付いた時には購入時期が終了していたため。
- ・買い物する店が加盟していなかったから。
- ・発売日が仕事で入手困難と判断してあきらめた。
- ・小牧市内であまり買い物をしないから。
- ・気がついたら、期限が過ぎていた。
- ・現金で買い物をしているため。

■商品券事業を知っているが購入しなかった主な理由は、過去の調査傾向と同様になっていますが、「使いづらいと思ったから」は23.4%（H24：42.5%、H25：34.4%、H26：37.1%、H27：35.7%、H28：27.3%）で、商品券販売を継続していく中、年々減少しており、使い方については浸透が進んでいると考えます。また、昨年新たに追加した選択肢「購入手続きが面倒だから」は19.2%（昨年17.7%）と2番目に多い回答結果となり、販売方法等が毎年変わっていることも要因の一つと考えられます。「興味が無いから」が17.7%（H24：20.7%、H25：27.2%、H26：21.3%、H27：16.2%、H28：18.9%）で3番目に多い回答となり、数値は減少しているものの上位を占めています。商品券の使用方法やメリットの周知を含め、さらに商品券事業の魅力を高めるとともに、販売方法についてもより多くの購入希望者が商品券を購入できるよう検討をする必要があります。

問5 問4で「1 使いづらいと思ったから」と回答した方にお聞きします。
あなたが、使いづらいと思った理由は何ですか？

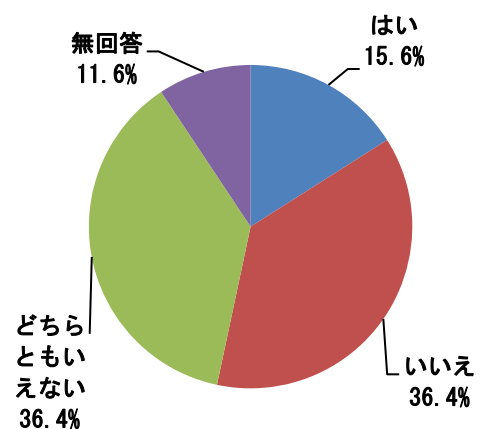
どの店で使えるのかわからないから	14	10.9%
使いたい店が無かったから	12	9.3%
使える店が少ないから	20	15.5%
使用期限があるから	29	22.5%
商品券が2種類あり、上手く利用できないと思ったから	40	31.0%
商品券を持って歩くのが面倒だから	8	6.2%
その他	6	4.6%
合計	129	100%



■「使いづらいと思ったから」の主な理由は、「商品券が2種類あり、うまく利用できないと思ったから」31.0%（H24：31.6%、H25：29.3%、H26：30.3%、H27：38.1%、H28：29.7%）が1位となりました。「使用期限があるから」22.5%（H24：31.2%、H25：23.6%、H26：34.7%、H27：31.5%、H28：31.9%）、「使いたい店がなかったから」9.3%（H24：24.9%、H25：30.8%、H26：18.9%、H27：21.0%、H28：24.9%）は、いずれも回答割合は減少しています。消費需要を捉えた利用期間の設定や加盟店の増加、幅広い業種の参加、商品券の具体的な使用方法のさらなるPR等に継続して取り組む必要があります。

問6 問1で「2 知らない」と回答した方にお聞きします。
表紙のプレミアム商品券の概要をご覧になって、興味を持たれましたか？

はい	12	15.6%
いいえ	28	36.4%
どちらともいえない	28	36.4%
無回答	9	11.6%
合計	77	100%

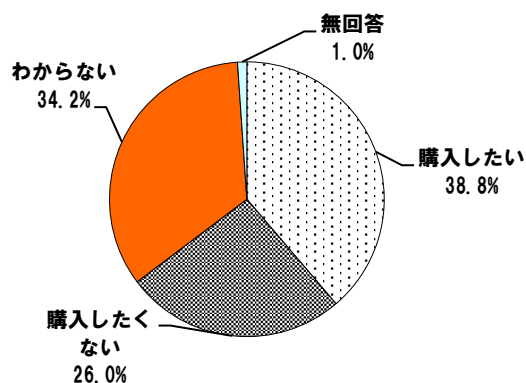


■本年新たに追加した設問で、「商品券を知らない」と答えた方に対してアンケート表紙の概要を読んで興味を持たれたかお聞きしたところ、15.6%の方が「はい」と回答されました。約1割の商品券を知らない方へのPR方法を検討する必要があります。

問7 全ての方にお聞きします。

平成30年度もプレミアム商品券を発行する予定です。あなたは購入したいと思いますか？

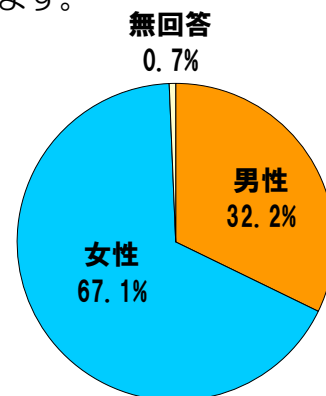
購入したい	355	38.8%
購入したくない	238	26.0%
わからない	313	34.2%
無回答	10	1.0%
合計	916	100%



■平成30年度発行の商品券購入については、「購入したい」が38.8%（H24：27.0%、H25：25.8%、H26：26.8%、H27：42.3%、H28：34.9%）、「購入したくない」が26.0%（H24：25.0%、H25：28.5%、H26：27.3%、H27：18.1%、H28：23.0%）、「わからない」が34.2%（H24：46.9%、H25：44.8%、H26：45.6%、H27：39.0%、H28：41.9%）となっております。平成28年度は売れ残りが発生してしまいましたが、平成29年度は利用期間を延長したこと等により完売し、市民の購入率も上昇しました。これにより、アンケート調査でも次回購入したいと回答した方が平成28年度の34.9%から今回38.8%と増加しており、引き続き、商品券の魅力向上をさせて販売に繋げていくことが必要と考えられます。

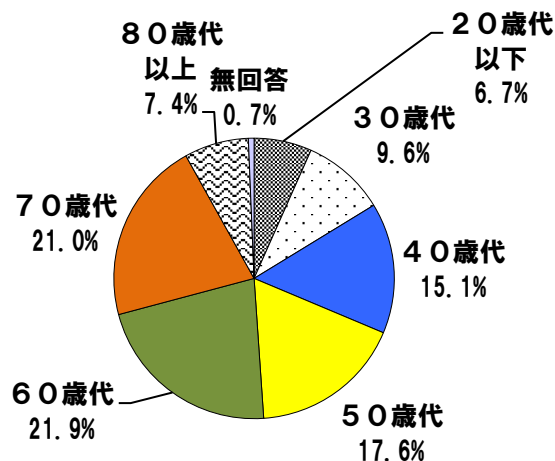
問8 あなたの性別をお聞かせください。

男性	295	32.2%
女性	615	67.1%
無回答	6	0.7%
合計	916	100%



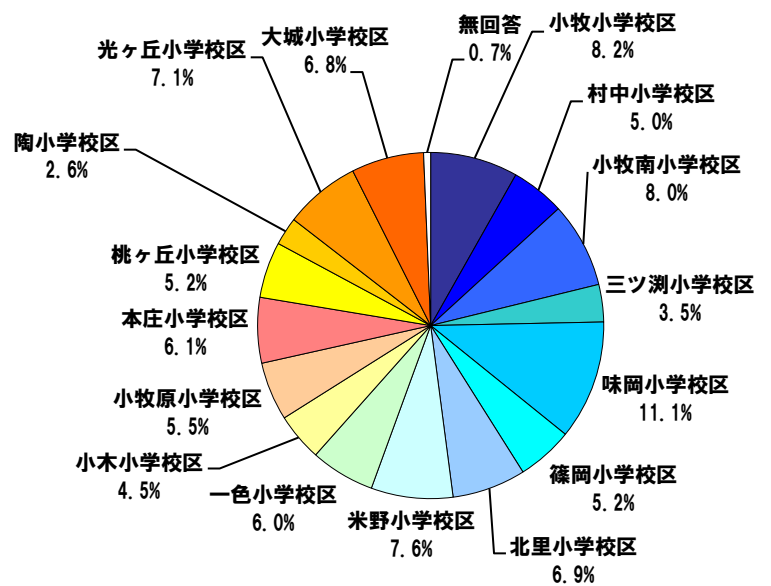
問9 あなたのご年齢をお聞かせください。

20歳代以下	61	6.7%
30歳代	88	9.6%
40歳代	138	15.1%
50歳代	161	17.6%
60歳代	201	21.9%
70歳代	192	21.0%
80歳以上	68	7.4%
無回答	7	0.7%
合計	916	100%



問１０ あなたのお住まいはどちらですか。

小牧小学校区	75	8.2%
村中小学校区	46	5.0%
小牧南小学校区	73	8.0%
三ツ渚小学校区	32	3.5%
味噌小学校区	102	11.1%
篠岡小学校区	48	5.2%
北里小学校区	63	6.9%
米野小学校区	70	7.6%
一色小学校区	55	6.0%
小木小学校区	41	4.5%
小牧原小学校区	50	5.5%
本庄小学校区	56	6.1%
桃ヶ丘小学校区	48	5.2%
陶小学校区	24	2.6%
光ヶ丘小学校区	65	7.1%
大城小学校区	62	6.8%
無回答	6	0.7%
合計	916	100%



■商品券事業についての自由意見（抜粋）

- ・今回初めて買いました。もっと早くから買えばよかったと思いました。
- ・プレミアム商品券を買える場所が分かりにくい。プレミアム商品券を使える場所や店舗が少ない。
- ・え～なも券とい～なも券と使用できるお店が分かりづらい。え～なも券(共通券)だけで良いと思う。
- ・販売総額に対し市としての負担はどうか。又その効果はどう評価しているのか知りたい。
- ・紙では再利用可能なカードにチャージの形にして欲しい。持ち歩きに便利です。
- ・1人当たりの購入量を倍程度にしてほしい。
- ・使用期限が短いため使えるかどうか心配なので購入できない。
- ・前使えたお店が今回使えなくなっていたり、逆に使えるようになっていたり、毎回使えるお店が不安定な感じがして買い替えしてしまいます。入れ替わりが分かりにくいです。
- ・商品券使用可の店舗がもっと増えることを希望します。
- ・使えるお店にポスターが欲しい。
- ・購入した人だけが得するという事は公平性に欠け、市の事業としてはまずい。廃止して、戸当たり10,000円程税金を安くすべきである。
- ・おつりが出たらもっと使用しやすくなります。
- ・郵便やネットで購入できるようにして欲しい。
- ・消費者にとって、有り難い事業なので是非続けてもらいたいと思います。
- ・現金購入のみだとたくさん買いづらい。クレジットも使える様になったらいいと思う。
- ・使えるお店が増えてきていますが、もっともっと増やしてほしいです。
- ・やや高いような気もします。5,000円、10,000円などランク分けしたらよいと思います。
- ・普段利用している店が限られているため利用しませんが、大きな買い物の予定とかある場合はぜひ利用したいと思います。

3. 総括

今回の市民アンケートの結果からうかがえる市民のプレミアム商品券に対する認識やその課題は、過去の調査とほぼ同様の結果となりましたが、その中でも、商品券を知っていると回答された方の割合が 91.5%と、引き続き9割を超える方から認知されていることがわかりました。

次回の商品券購入につきましても、平成28年度の調査では34.9%の方が「購入したい」と回答されたのに対し、今回の調査では38.8%と増加傾向となりました。これは、平成28年度に売れ残りが発生した課題を踏まえ、商品券を予約・購入しやすい環境を整えるため、対象を市民限定とした1次予約に加え、市外在住者も予約可能とした2次予約を設けたり、商品券自体の魅力向上を図るため、国の特例措置を活用して利用期間を延長（約2ヶ月増）し、7月から2月まで利用可能とすることで夏のボーナス需要の取り込みを可能としたなど、より多くの方が商品券を購入できるよう改善したことがプラスの要因になったと考えられます。

国の交付金等を活用して全国的にプレミアム商品券が販売され、マスコミ等でも多くの報道がなされたことにより一時的に過熱した平成27年度を除き、それ以前は、次回商品券を購入したいと思う市民の割合が3割を割っていたことから、認知度の浸透とともに、購入したいと思う市民は増加しており、今後もより多くの方に商品券を購入していただけるよう商品券の魅力を上昇させるため、次の課題について対応を検討する必要があります。

1点目として、商品券を知っていても購入しなかった方の割合が61.7%で、前年度から10.6ポイント改善しているものの、6割を超える方が知っていても購入しなかったという点です。その理由として、「使いづらいと思ったから」、「購入手続きが面倒だから」、「興味が無いから」が多く回答されました。使いづらいと思う理由としては、「商品券が2種類あり、上手く利用できないと思ったから」が最も多く、これに「使用期限があるから」が続き、「使いたい店が無かったから」、「使いたい店が少ないから」、「どこの店で使えるかわからないから」といった使用可能店舗に関する理由が3つ合計で35.7%を占めました。これらのことから、より幅広い業種の店舗の加盟や各地域の店舗の加盟を促進するとともに、日常生活用品など生活関連の店舗の加盟状況やその具体的な利用方法、メリットを強くPRしたり、各加盟店においても商品券を利用した独自の販売促進策に取り組むなど、本事業の魅力をさらに高める努力を継続して行っていく必要があります。

2点目として、プレミアム商品券を「知らない」と回答された方が20歳代以下、30歳代の方に多く、若い年代の認知度が低いという点です。さらに、知っていても購入しなかった方についても、年代別では29歳以下、30歳代の割合が高く、特に若い世代へのPRと需要喚起が弱いことがうかがえます。このことから、購入につなげていない若年層や子育て世代へのPRや販売体制の強化が必要と考えます。

以上の点から、今後のこまきプレミアム商品券事業に関する取組みとしては、若年層を中心に、年代に応じたPR方法を検討するほか、引き続き小牧商工会議所と連携して商品券の販売方法・体制の改善と新規加盟店の増加に努め、さらに各加盟店における商品券活用の取組みなどを通じて、プレミアム商品券の魅力をさらに高めてまいりたいと考えております。